

平成28年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

佐世保市立祇園中学校

所在地 佐世保市祇園町14番12号

校長 妻夫木 敏明

生徒数 1年生110名 2年生132名 3年生131名 総計353名

学級数 11クラス 特別支援学級2クラス 全学級13クラス

1 学校経営ランドデザイン



## 2 目的

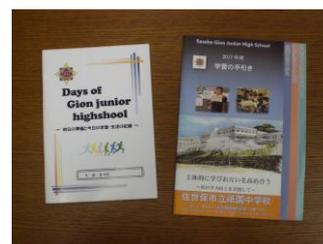
学校教育目標の具現化のために、以下の目的を設定した。

- (1) 新しい立地条件を生かした教育の展開を図り、豊かな感性や人間としての在り方生き方などを学ばせる。
- (2) わかる授業の展開や、授業法の改善、朝読書の推進、学習案内を用いた家庭学習との連動など基礎学力の定着を図る。
- (3) 専門家による保健や性についての講演を通して「健康教育」の推進にあたる。
- (4) 各種講演会を実施し、保護者への啓発活動の展開を図りながら家庭教育との連動を図る。
- (5) 開かれた学校を目指し、保護者・地域と連携し、地域の中核としての機能の充実を図る。
- (6) 本物にふれる教育に取り組み、地域人材を活用した「伝統文化学習」を推進する。

## 3 実践内容

### (1) 学力向上の推進・図書館教育の推進

- ① 「主体的に学び、お互いを高め合う生徒の育成～学びの連続性の工夫を通して～」を校内研究テーマとし、基礎・基本の定着や家庭学習の習慣化に向けて、授業改善に取り組むとともに、各家庭には「学習案内」(学習の手引き)を配布し、学習の習慣化を推進した。また、「Days (生活の記録ノート)」を作成し、日々の記録をとらせ、家庭学習のルーティン化を図った。



- ② 言語活用能力向上の一助として、図書利用を活発化させるために、保護者から「図書ボランティア」を募り、環境整備等を含め利用しやすい図書室運営に取り組んだ。

また、「ブックフェスティバル」を開催し、「図書ボランティア」による読み聞かせや紙芝居、エプロントーク、図書委員による読み聞かせなど、生徒の読書活動の推進に努めた。

さらに、授業と学校司書の連携を図り、図書館を活用した授業を実践しながら、多機能に活用する図書館経営の推進に努めた。

本年度は、学校司書の積極的、計画的な読書活動の推進や図書ボランティアの「ブックフェスティバル」等の顕著な活動が認められ、「長崎県子ども読書推進活動」の表彰を受けた。



### (2) 豊かな心の育成の推進

- ① あいさつ運動・ペットボトルキャップ収集

本校では、生徒会を中心に「朝のあいさつ運動」「ペットボトルキャップ収集」等の奉仕・ボランティア活動に取り組んでいる。ペットボトルキャップの収集においては、毎月生徒会朝会で集計結果を発表し、熱心に取り組んだ学級の表彰を実施している。収集したキャップは地域の企業に持参し、ポリオワクチンの購入に役立ててもらっている。

- ② いのちを見つめる講演会

6月3日(水)、スクールカウンセラーを講師に、「自分とうまくつきあう方法」と題し、ストレスの意味やその対処法、アンガーマネジメント等をもとに、いのちの大切さについての講演会を実施した。

講演の内容は、生徒の心に直結するものでもあり、いのちの大切や自分自身を見つめ直す大事な機会となった。



### ③ 「いのちを見つめる」一斉道徳授業の公開

6月2日(木)、「いのちを見つめる強調月間」の取組の一つとして、「生命の尊重」を題材に、各学年で一斉道徳を行った。現在の生活を見つめ直し、自他のいのちの大切さについて考えを深める学習に取り組んだ。



### ④ 職場体験学習

10月31日(月)～11月2日(水)の3日間、第2学年で職場体験学習を実施した。市内37箇所の各事業所にご指導をいただきながら、実際に職場の方の話を聞き、その業務を体験することで、働くことの意義を考え、将来を見据え、目標をもって生活することの大切さを学ぶ貴重な機会となった。



### (3) 人権・平和教育の推進

6.29平和集会では、実行委員の佐世保空襲についての調査発表や戦争にかかる絵本の読み聞かせを行った。また、戦争にかかるDVDを視聴した。当時の佐世保の現状が切々と伝わる内容であり、戦争の悲惨さを体感した。

8.9平和集会では、原爆や戦争と平和に関する発表を行うとともに、長崎原爆記念式典にあわせ黙祷し、長崎県民、日本国民として、過去のこの日をより身近なものとして認識し、二度と戦争や原爆で苦しむことがない平和な世の中をつくる心をはぐくんだ。

12月4日(金)には、ハンセン病にかかる映像の視聴などから人権を守ることの大切さを再認識するとともに、一人一人の個性の尊重する大切さを学ぶ意義深い学習会となった。



### (4) 防犯教育の推進

① 情報モラル学習会

7月4日（月）、県メディア安全指導員を講師に招き、講話をいただいた。中高生が陥りやすいスマートフォンや携帯電話等の危険性をしっかりと把握し、利便性を生かした活用を学ぶことのできた講演会となった。

②デートDV被害防止・性教育講演会

2月17日（金）、NPO法人「DV防止ながさき」の方を講師として招聘し、性教育講演会（デートDV被害防止）を実施した。

中学生としての、「ふさわしい男女のあり方」を学んだ。

③ 薬物乱用防止教室

11月24日（金）、ライオンズクラブから講師を招聘し、講演会を行った。

講演会をとおして、薬物の恐ろしさや危険性を再認識するとともに、自分自身の体や命を守ることを体感することのできる機会となった。

(5) 地域交流

9月24日（土）、「プレイパーク」（中学校区健全育成協議会主催）のアシスタントとして、学芸ボランティア部が参加した。紙飛行機づくりやおもちゃづくりなど小学生を対象にした体験学習の補助を丁寧に指導した。

11月5日（土）、中部地区公民館文化祭に、各学年から習字や教科作品を出展した。また、吹奏楽部がオープニングアクトを務めた。地域行事に参加し地域の方々と交流を深めた。

(6) 本物を学ぶ「伝統文化体験学習」

1月13日（金）・20日（金）、2年生を対象に伝統文化体験学習を実施した。日本の伝統文化に造詣が深い地域の方を講師に招き、基本を学ぶとともに礼儀や作法等の体験もした。本年度は6コース（茶道・華道・書道・箏曲・俳句・弓道）を開設し、日本の伝統文化の優雅さや奥深さを再発見する貴重な時間となった。



#### 4 成果と課題

本年度も、学校教育目標の具現化を図るために、地域の人材を活用しながら、特色ある学校づくりを推進してきた。これからも幅広く学ぶ機会を取り入れ、確かな学力と豊かな心を育みながら、地域に根ざした学校づくりを邁進し、祇園ブランドの確立を図っていきたい。